



2023年2月3日

各 位

会社名 か っ こ 株 式 会 社
代表者名 代表取締役社長 CEO 岩井 裕之
(コード番号: 4166 東証グロース)
問合せ先 専務取締役管理部門管掌 CFO 関根 健太郎
(TEL. 050-3647-4166)

業績予想の下方修正に関するお知らせ

当社は、2023年2月3日開催の取締役会において、下記のとおり、最近の業績の動向等を踏まえ、2022年2月14日付で公表しました2022年12月期(2022年1月1日～2022年12月31日)の通期の業績予想を下方修正することとしましたのでお知らせいたします。

記

1. 当期の個別業績予想値の修正(2022年1月1日～2022年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株あたり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	1,102	191	195	137	52.28
今回修正予想(B)	1,076	176	154	99	37.84
増減額(B-A)	▲25	▲14	▲41	▲37	-
増減率(%)	▲2.3	▲7.8	▲21.3	▲27.6	-
(参考) 前期実績 (2021年12月期)	951	178	170	120	45.90

(注) 当社は連結財務諸表を作成しておりません。

2. 修正の理由

2022年12月期の業績は、不正検知サービスの中核製品である不正注文検知サービス「0-PLUX」において、ECパッケージ・ショッピングカートとのシステム連携等、アライアンスの推進に努めた結果、新規顧客の増加及び既存顧客の持続的な成長により概ね計画通り進捗したものの、不正アクセス検知サービス「0-MOTION」およびデータサイエンスサービスにおいて、顧客の一部解約、新規顧客獲得の低調な推移の結果、売上高、営業利益ともに当初計画を下回る見込みとなりました。

また、当社の成長戦略の1つとして掲げている海外展開について、東南アジアにおける事業展開の一環として、ファイナンス事業を目的として設立された現地スタートアップ企業が発行した転換社債を2020年3月に引き受けておりましたが、当該債権の回収可能性に関する検討の結果、営業外費用として貸倒引当金繰入額(20百万円)を計上したことから、経常利益、当期純利益いずれにつきましても大幅に当初計画を下回る見込みとなりました。

(注) 上記の予想は本資料の発表日現在における入手可能な情報に基づいて算出しておりますが、実際の績は今後の様々な要因により、予想数値とは異なる結果となる可能性があります。

以上